絆 黒井小だより 令和3年10月号
https://www.tamba.ed.jp/site/kuroi/
親和・協力
丹波市春日町黒井２２０５番地
Tel：74-0035　Fax：74-2697

５年生自然学校

１学期に実施した竹野での磯観察に続き、１日には年輪の里での木工クラフトと水分れミュージアムの見学、７日には豊岡市円山川公苑でのカヌー・カヤック体験、１２日には婦木農場でのチーズ作り体験、２５日には、丹波少年自然の家での藍染め体験と、自然学校を立て続けに実施しました。

コロナ禍のため、今年度も宿泊はしませんが、校外の様々な施設で、体験を伴う学習を実施できたことは、子どもたちにとって、とても貴重な経験です。

円山川公苑でのカヌー・カヤック体験は、県の内陸部で生活する子どもたちにとって、なかなか体験できるものではありません。仲間と息を合わせないと真っすぐ進まない、曲がりたい方向と逆側を漕ぐ舟の特性など、学校や家庭では味わうことのできない体験ができました。また、婦木農場でのチーズ作りや自然の家での藍染め体験は初めての企画でしたが、身近な地域を知る貴重な機会になったと思います。

宿泊ができない、例年通り実施できないからこそできた学習。全ての学年で、今後も状況に合わせてできることを見つけ、感染防止策を十分講じながら学習活動を行っていきます。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。（文責：教頭）

～11・12 月の予定～

１１月
- ２日（火）ＡＬＴ来校日
- ３日（水）文化の日
- ４日（木）委員会活動
- ７日（日）リサイクル活動 8:00（予備日１４日）
- ９日（火）ＡＬＴ来校日
- １１日（木）クラブ活動（最終）
- １３日（土）黒井城まつり
  - 8:10　６年学年発表
  - 8:30　６年戦国太鼓発表
  - 9:30　武者行列
  - 11:40　一斉下校
- １５日（月）振替休業日
- １６日（火）ＡＬＴ来校日
- １９日（金）１年生活科見学　※要弁当（チルドレンズミュージアム）
- ２２日（月）イングリッシュタイム（3，４年）
- ２３日（火）勤労感謝の日
- ２４日（水）ミニ校外児童会
  学校保健安全委員会 15:00
- ２６日（金）音楽会
- ３０日（火）６年修学旅行（～12/1）（奈良・京都）

１２月
- ２日（木）２年生活科見学（福知山市）
- ３日（金）教育相談日、13:30 下校
- ７日（火）４年学年発表 8:10
- ８日（水）マラソン記録会（予備日９日）
- ２１日（火）14:40 下校
- ２２日（水）校外児童会、14:40 下校
- ２３日（木）給食最終日、14:40 下校
- ２４日（金）２学期終業式、11:40 下校

見える学力と見えない学力（2）

前回に引き続いて、非認知スキルについてお話ししたいと考えています。前回 4 つの非認知スキルについてお話ししました。㋐ひとの考えをよく聞き、自分の考えを発表できる。…人間関係形成力　㋑初めてのことや苦手な事にすすんで挑戦できる。…自己管理能力　㋒自主学習を続ける。授業に最後まで集中して取り組める。…課題対応能力　㋓当番活動や係活動、掃除などみんなのために仕事ができる。…社会性・公共心　です。

これは、今大切にされている「キャリア教育」の基礎的・汎用的能力とも通じています。また、「子どもに社会に出るまでに身につけさせたいと考えること」（第１回 幼児期から小学１年生の家庭教育調査報告書）においても、人との関係づくり（78.1%）…アと関連、タフな精神力（60.0%）…㋒と関連、将来進みたい領域に必要な知識（54.1%）・幅広い知識や教養（49.3%）…㋑と関連、探求心や何かに没頭する経験（33.6%）…㋒と関連など基本的な非認知能力が「基礎的・汎用的能力」と言われています。

では、人間関係形成力、自己管理能力、課題対応能力、社会性・公共心とは具体的にどのようなことかをお話しします。

まず、人間関係形成力は、「多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力。」とされています。具体的には、他者の個性を理解する力、他者に働きかける力、チームワーク、リーダーシップなどです。黒井小学校で取り組んでいる授業改善の中でもこの力を伸ばそうとしています。

自己管理能力は、「自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力。」です。言い換えると、自分の可能性を大切にして、やらなければならないことは、苦手なことでも逃げずに取り組める力のことです。具体的には、自己の役割の理解、前向きに考える力、自己の動機付け、忍耐力、ストレスマネジメントや主体的行動などです。

課題対応能力は、「仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力。」です。小学校の児童においては、計画を立ててこつこつ努力を重ねることや興味を持った課題について問題解決的に取り組むことだと考えます。

社会性・公共心は、その通りです。「「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断して自身の成長に生かしていく力。」です。学ぶことや働くことの意義や役割の理解だと考えます。

次回は、これらの育みたい力についての子どもたちの現状をお話しします。

文責　谷口千尋